

安全データシート  
ティッシュマーキングダイ ボトル 青

作成日:2010年12月1日

改訂日:2020年10月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	ティッシュマーキングダイ ボトル 青
製品コード	302-102-2
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
FAX番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	tokyo@falma.co.jp
緊急連絡先	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用:病理組織用マーキング剤(青)

2. 危険有害性の要約(製品の情報がいないため、成分のデータから区分を推定した)

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経系、呼吸器)

上記以外の項目は、分類対象外、分類できない又は区分外

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

中枢神経系、呼吸器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

蒸気を吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

応急措置

皮膚に付着した場合、水で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。

保管 廃棄	<p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。</p> <p>容器を密閉し、室温で施錠して保管すること。</p> <p>関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。</p>
----------	--

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別  
成分及び濃度

混合物

成分	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)
①フタロシアニン銅	<17	147-14-8	(5)-3299
②水酸化アンモニウム	<2	1336-21-6	(1)-314

### 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。

皮膚に付着した場合

水で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。

飲み込んだ場合

速やかに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。

### 5. 火災時の措置

消火剤

粉末、水、二酸化炭素

特有の危険有害性

火災時に刺激性又は有害なガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具

作業には必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。

及び緊急措置 必要に応じた換気を確保する。  
 環境に対する注意事項 漏出物を河川や下水に直接流してはならない。  
 封じ込め、浄化の方法及び機材 不燃材料等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
 技術的対策 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
 安全取扱注意事項 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 衛生対策 取扱い後は手などをよく洗うこと。  
 保管  
 安全な保管条件 容器を密閉し、室温で施錠して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

	①	②
管理濃度	未設定	未設定
許容濃度(2018年版)		
日本産業衛生学会	未設定	25 ppm (17 mg/m <sup>3</sup> )
ACGIH	未設定	TLV-TWA 25 ppm TLV-STEL 27 ppm

設備対策 取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。  
 局所排気装置を使用すること。

保護具  
 呼吸用保護具 必要に応じ、有機ガス及び蒸気用フィルター付きマスクなどの呼吸用保護具を着用すること。  
 手の保護具 保護手袋を着用すること。  
 眼の保護具 保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 皮膚及び身体の保護具 必要に応じ、保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态  
 形状 粘稠性液体  
 色 青色  
 臭い 微臭  
 pH データなし  
 融点・凝固点 データなし  
 沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし

引火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
比重(密度)	1.02
溶解度	水に溶解
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	安定
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	なし

#### 11. 有害性情報(製品の情報がなため、成分のデータから区分を推定した)

急性毒性	
経口	②ラットの LD <sub>50</sub> として、350 mg/kg (SIDS(2008))との報告に基づき、区分 4。 製品の濃度から区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	②ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、20%水溶液の適用により腐食性を示したとの報告があり(SIDS(2008))、強アルカリ性のため、眼や皮膚に対して腐食性を示すとの記載がある(SIDS(2008))ことから区分 1。 製品の濃度より区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	②強アルカリ性のため、眼や皮膚に対して腐食性を示すとの記載(SIDS(2008))や、粘膜に対して著しい刺激性を示すとの記載がある(HSDB(Access on June 2014))ことから区分 1。 製品の濃度より区分 2。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	②ヒトに気道刺激性があり、経口経路で口などに重度の腐食性がある(HSDB(Access on June 2014))。吸入ばく露や経皮ばく露で神経学的影響が知られている

	(ATSDR(2004))ことから区分 1(中枢神経系、呼吸器)。 製品の濃度より区分 2。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	②ヒトでの慢性ばく露による影響に関して報告はない。実験動物では、死亡例の発現(SIDS(2008))の記述があるが、詳細が不明で、データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性(急性)	②有害性が認められるが、ごく少量であることから区分外。
水生環境有害性(長期間)	②有害性が認められるが、ごく少量であることから区分外。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

### 汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

非該当

### 国内規制

非該当

### 注意事項

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

①②名称等を表示すべき危険有害物

①②名称等を通知すべき危険有害物

①②危険性又は有害性等を調査すべき物

---

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性があり得ますので、取扱には十分ご注意ください。